



IBC BUSINESS REPORT 2024年9月期

『IT障害をゼロにする』を合言葉に

代表取締役社長CEO 加藤 裕之

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第22期(自2023年10月1日至2024年9月30日)の株主通信をお届けします。

当連結会計年度における我が国の経済を取り巻く環境は、10月の衆議院選挙の状況や11月の米国大統領選挙、また欧州での政局の変化や中東情報を中心とする地政学リスク等、予測することが難しい状況になってきております。また、今年の春闘を受け大企業を中心に賃金の伸びは高まっており、物価上昇とのバランスも鑑み日本経済は緩やかではあります成長していくことと信じております。

第22期の振り返り

第22期の業績は売上高21.8億円(前期比115%)、営業利益3.8億円(前期比180%)と増収増益となりました。

事業別では主力のライセンス売上(自社開発運用管理ソフトウェアSystem Answerシリーズ)は、前期比123%と大幅伸長をすることが出来ました。自治体や製造業を中心に新規ユーザーが増加したことや、既存ユーザーの更新も96%のお客様から契約更新をいただいた結果です。

次にサービス売上(運用管理のクラウドサービス、セキュリティサービス、ネットワークサービス他)は前期比107%、物販事業売上は前年比138%となりました。働き方の変化に伴うネットワーク再構築やセキュリティのさらなる強化により堅調でした。我々のMissionである「IT障害をゼロにする」という活動指針が社会のデジタル化の進展に広く受け入れられた結果と自負しております。

第23期の見通し

第23期の事業環境は先述の世界情勢の影響で不透明な状況はありますが、第22期の勢いを継続させることで売上24.0億(前年比110%)営業利益4.5億(同118%)の増収増益を目指します。

配当政策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項としてこれからも安定的、継続的な配当に努めてまいります。

前事業年度は1株につき年間6円の配当を実施しましたが、第22期は1株につき年間金8円への増配を実施させていただきます。

また、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、今後は累進配当を実施してまいります。第23期の中間配当、期末配当ともに1株あたり金6円(年12円)の配当を実施する予定です。

社会に貢献する会社を目指して

私達アイビーシーは「IT障害をゼロにする」をMissionとして豊かな安定した社会の実現に貢献すべく、クラウド、セキュリティ、AI等の最新技術を活用した競争力の高い製品開発に継続して努めてまいります。

そのなかで、SDGsの一環として、2023年より脱炭素社会への貢献のために会社で使用する電気を全て再生可能エネルギーに変更し、さらに、ペーパーレス化やリモートワークの活用を図り、第22期は約55tのCO₂削減を図りました。

また、2022年より社会的弱者に対する貢献として、贈答用の胡蝶蘭を「AlonAlonオーキッドガーデン(一般企業への就労が困難な障がい者への自立支援活動を行っているNPO法人)」で栽培された胡蝶蘭に切り替えました。お客様やパートナー様にもこのNPO法人の活動を紹介し、積極的に利用をお願いしてまいりました。2024年3月には新規事業であるマンゴーの栽培に出資も行いました。この12月には社員と障がい者との交流の機会を設けるべく、アイビーシーの社員が農場に行き共に働いてまいりました。社員一人ひとりがボランティアの精神を持つ一人の人間として確立していくことを期待しています。我々アイビーシーは、上記の取り組みを通じて社会に貢献する会社を目指してまいります。

業績ハイライト

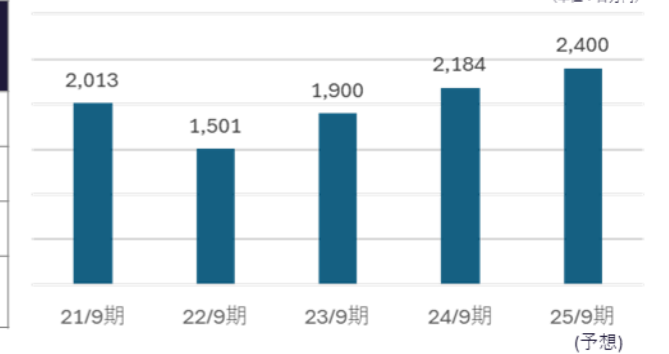
■2024年9月期(第22期)連結決算概要及び2025年9月期(第23期)個別業績予想

2024年9月期は、売上・営業利益ともに過去最高を達成。

2025年9月期は、引き続き堅調に推移。

	24/9期 累計期間	前期比	25/9期 業績予想	前期比
売上高	2,184	+15%	2,400	+10%
営業利益	382	+80%	450	+18%
経常利益	411	+76%	482	+17%
親会社株主に帰属 する当期純利益	251	+258%	358	+42%

▶売上高推移



■2024年9月期事業別の個別業績売上

ライセンスの販売

10.3億(前年比+22.6%)

サービスの提供

6.6億(前年比+6.8%)

その他物販

3.9億(前年比+37.6%)

株式情報(2024年9月30日現在)

▶発行可能株式総数

20,000,000株

▶発行済株式の総数

5,723,600株

(自己株式194,159株含)

▶株主数

2,651名

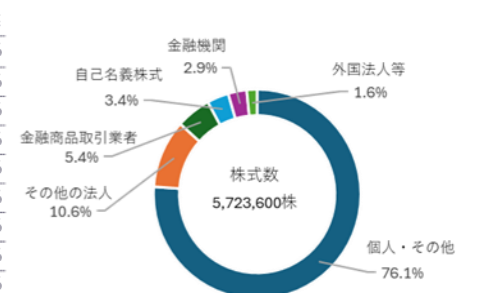
▶株主メモ

証券コード	3920	株主名簿管理人 (および特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 <事務取扱場所>東京都府中市日町1-1
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場	お問合せ先	<郵送先>〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 <連絡先>TEL 0120-232-711(通話料無料) 土・日・祝日等を除く午前9時~午後5時
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日		<ホームページ> https://www.tr.mufg.jp/daikou/
定時株主総会	毎年事業年度終了後3か月以内		よくあるお問合せはQRコードからご確認ください。
基準日	毎年9月30日		
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、毎年3月31日		
1単元の株式数	100株		

※持株比率は、自己株式194,159株を控除して算出しております。

株式事務について ※証券会社に口座がある株主様はお取引の証券会社へお問合せください。

▶株式分布状況



Corporate Information(2024年12月20日現在)

社名	アイビーシー株式会社 IBC: Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.	資本金	443百万円	役員構成	代表取締役社長(CEO) 加藤 裕之 取締役副社長(COO) 小田 成 取締役 小田 祐樹 取締役(社外取締役) 梶本 繁昌 取締役(社外取締役) 天野 信之 取締役(社外取締役) 東 常夫 取締役(社外取締役) 由利 孝 常勤監査役 山本 祥之 監査役(社外監査役) 望月 明彦 監査役(社外監査役) 築田 稔
所在地	【本舎】東京都中央区新川1-8-81 アクロス新川ビル8F 【西日本事業所】大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪ビル3F	事業内容	・ITシステム性能監視ツールの開発/販売/サポート ・ITシステムの性能評価サービス ・ITシステムの設計・構築、コンサルティング ・IoTセキュリティ基盤の開発/提供 ・各種機器、ソフトウェア販売		
設立	2002年10月16日				
トップページ	https://www.ibt21.co.jp/	ソリューションサイト	https://system-answer.com/	IRサイト	https://www.ibt21.co.jp/ir/